

ISO マネジメントシステムは進化しています。

「ISO 統合マネジメントシステム」

現状の ISO を再構築して見ませんか？

「統合マネジメントシステム」のメリット

- ①品質、環境と個別システムの運用が避けられ、監査や文書管理の重複がなく、管理コストが抑えられる。



- ②経営計画を達成するためのマネジメントシステムとして構築し易い。
③統合審査の場合、審査費用が安くなる。
④ISO22301（事業継続）、ISO27001（情報セキュリティ）、OHSAS18001（労働安全衛生）の規格が統合し易い。

- ⑤経営者が考える利益計画を達成するためのマネジメントを教えるテキストとして活用する。

身の丈に合わないマネジメントシステムに我慢していませんか？



「統合マネジメントシステム」構築のコツ

- ①戦略として取組む… 目的を明確に
②“まね”しない… ユニーク差の追求
③トップダウンのしくみ…初めに方針ありき
④プロセスの規格… プロセスで説明できる
顧客満足（品質保証、環境負荷低減）
⑤今のやり方ベター… ベストを目指す

問合せ TEL0268-24-6253 e-mail ssyslab@gmail.com

〒386-0043 上田市下塩尻 405-9 シスラボスエヒロ 末広繁和

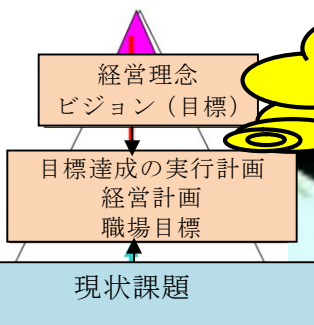
「ISO 統合システム」の目的は、お客さまに信頼、安心を与える

ISO 統合システム構築とは
経営者が考える経営計画を
達成するしくみづくり

決めたことを
守る体制づくり
(プロセスで説明)

狙い：品質保証能力
・Q、C、D、S、M
・著しい環境側面

たえず
皆で話合う



ISO9001：会社をよくする
ISO14001：地域に迷惑かけない
ISO22301：利害関係者に安心と
信頼を与える

会社をよくする
ためのしくみづくり
(筋の通った目標管理)

狙い：顧客満足追求
・付加価値の確保
・環境負荷の削減

・お客様に信頼、安心を
プロセスで説明できる会社
・全員参加の改善活動
活き活きしている会社

ISO とは、日常業務、日常業務とは、
改善活動（PDCA）と位置付ける



「経営者の考えた利益を達成する」 マネジメントテキストと位置付ける

～利益を確保するマネジメントシステムの作り方～

社長のやること

●利益を社員に教えられること

- ・会社の利益と給料の関係
- ・付加価値を合言葉にする
- ・付加価値を増やす着眼点

●目標管理のしくみを作る

- ・ISO 統合システムが早道
- ・継続的改善をするしくみ
- ・プロセスで改善着眼点をつかむ

経営者の考えた利益を達成する
マネジメントシステムを作る
「筋の通った目標管理のしくみ」

＜経営者と社員の協働作業＞

- ①経営ビジョンの作成
- ②経営計画の作成
- ③人と組織の能力の引き出し
- ④短時間内部監査の計画
- ⑤職場目標、実行計画の運用

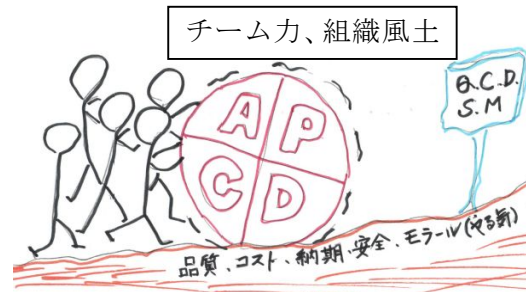
●人に“考えるエンジン”を付ける

- ・自分の案だと感じると人は動く
- ・短時間対話法を身に付ける
- ・共有、発散、収束、合意を使う

●改善の原理原則を教える

- ・5 S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）
- ・5 現（現場、現物、現実、原理、原則）
- ・5 M（人、設備、もの、方法、測定）
- ・7つのムダ（加工、運搬、停滞、検査）

ISO とは、日常業務、
日常業務とは、改善活動である



ISO 統合システム構築の進め方

コンサルティングの進め方

I 利益計画／付加価値管理の研修	1.経営者の想いを伝えるしくみ	マネジメントの教え方
		経営者の想いを伝える方法
		会社をよくするしくみ
		統合マネジメントシステム
	2.付加価値を確保するための分析方法	付加価値とは何か
		付加価値は全員で稼ぎ出す
		何が重要か課題を見付ける
		付加価値を分析する
		プロセスを分析する
	3.付加価値改善の着眼点	ムダを見付ける
		5 S と 7 つのムダ
	4.改善実行計画書の作り方	支援型リーダーシップ
		改善のための対話の進め方
付加価値を確保する改善の着眼点		
変動費の改善、固定費の改善		
売上高の改善、環境負荷の低減		
省エネの着眼、実行計画書に展開		
II．ISO 統合マネジメントシステム (手順の見直し・再構築)		
統合マニュアル (ISO9001+ISO14001) 社員の役割分担、仕事のルール（手順）の教育テキストとして活用する		

身の丈にあったマネジメント

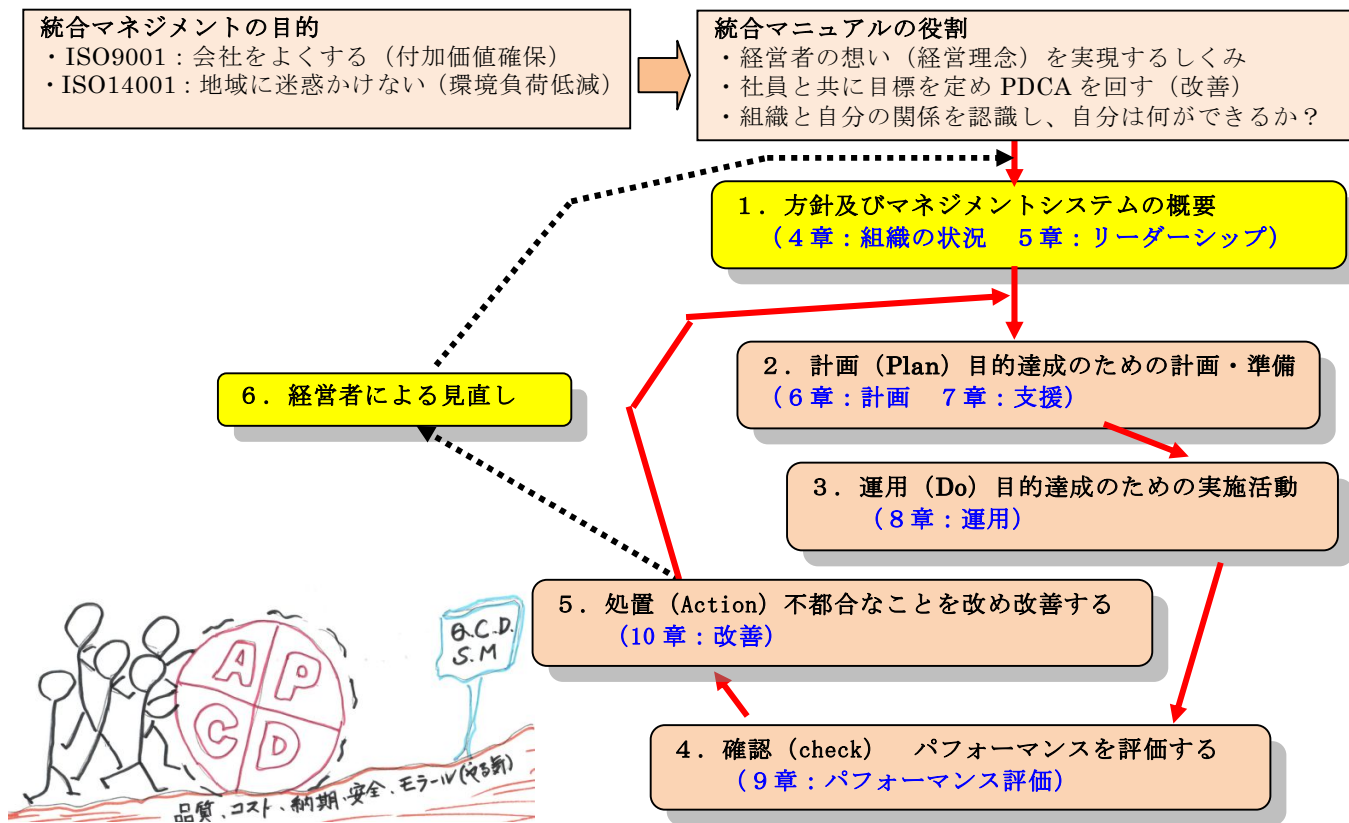


参考：その他研修プログラム（オプション）

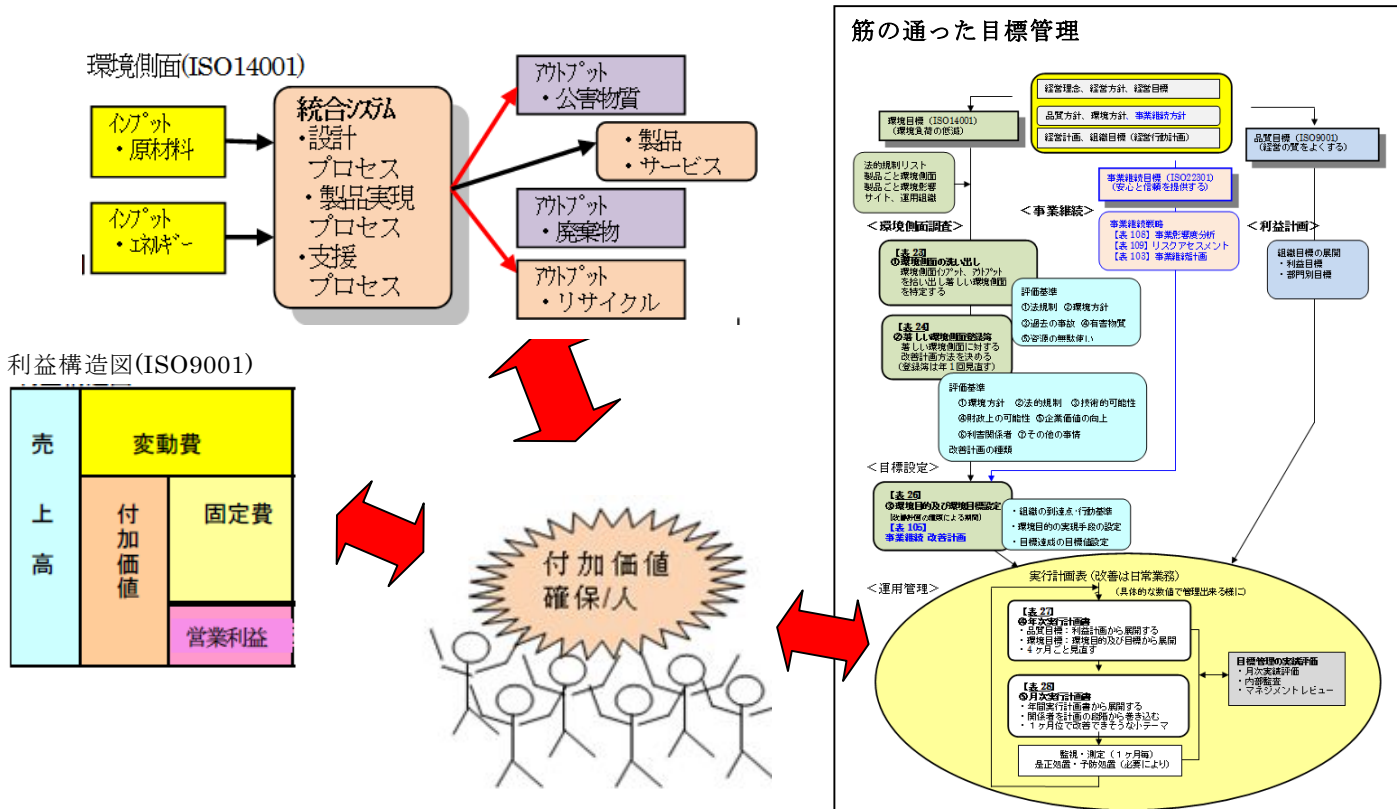
1	経営者マネジメント力向上
2	海外赴任者マネジメント力向上
3	ファシリテーター育成
4	運用費維持費ゼロの内部監査員養成
5	品質保証のしくみづくり
6	環境配慮経営の進め方
7	経営戦略会計による経営計画作成 ソフト“儲かったか”活用

「統合マネジメントシステム」のフレームワーク

(MSS：マネジメントシステム規格共通構造)



経営者の考える利益（付加価値）計画を達成するプロセス

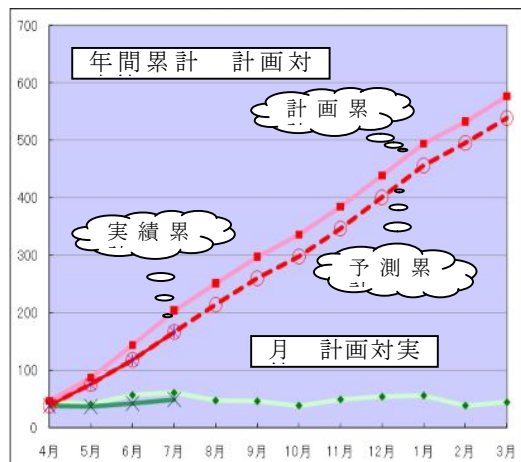


付加価値を月次で計画し評価する（例）

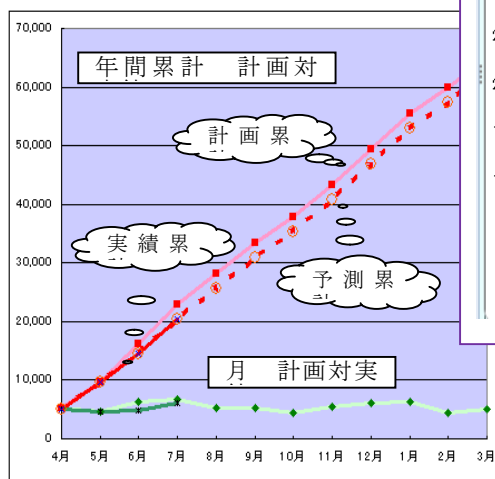
ソフト“儲かったか”を使用し作成した（例）
（月初 ①売上高 ②材料・外注費 ③人員を入力するだけ）

毎月、一人当たり付加価値、売上高、損益分岐点比率（k/f比率）の計画対実績で評価する。
月末の売上高、変動費（材料費及び外注費）、人員3つのデータ実績を集計しグラフ化する

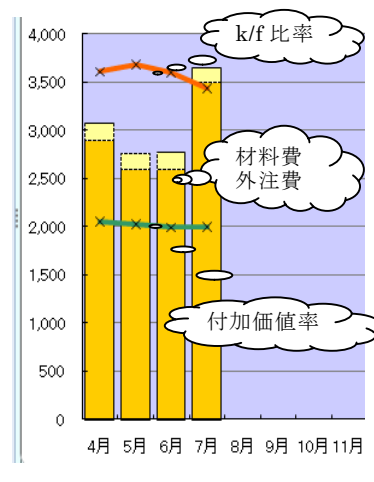
一人当たり付加価値 計画対実績



売上高 計画対実績



損益分岐点比率推移



付加価値を確保する改善の着眼点（統合システム ISO9001+ISO14001）

ISO9001：会社をよくする（付加価値確保）

ISO14001：地域に迷惑かけない（環境負荷低減）

